

三土管第1627号

平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

三 原 市 長

〒723-0015 三原市門一町二丁目3-4  
建設部土木管理課

今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のこのことについては、別紙のとおりです。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

広島県三原市

○三原市は、合併により、南部の瀬戸内海沿岸の都市地域と北部の中山間地域を有するとともに、広島空港、山陽自動車道、山陽新幹線、重要港湾尾道糸崎港などを擁する陸・海・空の要衝になったことから、新市の一体性を高め、地域の均衡ある発展と交通拠点性を活かした地域づくりが重要な政策課題となっている。このような中、本市における道路は、市民の日常生活、市の発展を支える重要な社会基盤であり、まだ未整備箇所が多く残っていることから、着実な道路整備が必要不可欠となっている。

今後の道路整備については、人口減少・少子高齢化社会の到来の中、「選択と集中」による効率的かつ効果的な事業実施が求められていることから、「地域の活力の強化」、「安全・安心の確保」、「暮らし・環境の質的向上」など喫緊の政策課題に対応する道路整備に重点的に取り組むべきと考えている。

○引き続き計画的な道路整備が行えるよう、次の事項について要望を行う。

- ①道路特定財源の見直しにおいては、地方の必要とする道路整備が引続き計画的に実施できるよう、地方の意見を踏まえ、地方税財源を拡充する方向で措置すること。
- ②新たな中期計画の策定にあたっては、立ち遅れている地方の道路整備の状況を踏まえ、地方が真に必要としている道路整備が計画的に実施できるよう、地方の意見を十分に踏まえること。
- ③高規格幹線道路、地域高規格道路をはじめとして、市町村合併による地域間の交流・連携を図る合併支援道路や広域連携道路などの整備を推進すること。
- ④特に、地域の生活に密着した道路整備が安定的に実施されるよう、地方道路整備臨時交付金制度を継続すること。
- ⑤受益者負担の原則のもとに自動車利用者が負担している税の用途は、納税者の理解を得られるものとする。

②-1 地域の現状と抱える課題

広島県三原市

○現状

①人口減少と高齢化の進展

- ・人口…昭和 60 年をピークに減少
- ・高齢化率…平成 17 年 25.7%(県平均 21.0%よりも高い率)

②環境問題への住民意識の高まり

- ・都市部における慢性的な渋滞、騒音などの環境問題
- ・地球規模の環境問題の外、地域の生活環境など身近な環境問題への意識の高まり

③恵まれた交通体系

- ・合併により、広島空港、山陽新幹線、重要港湾尾道系崎港、山陽自動車道などを擁する、陸・海・空の要衝となっている。
- ・広島空港の拠点化…滑走路 3000m 化等による機能強化
- ・臨海部のほか、山陽自動車道IC周辺の内陸部で企業立地

④中心市街地の活力低下

- ・人口減少や高齢化などによる中心市街地の活力低下が懸念されている。

⑤市町村合併の進展

- ・新三原市は、1市3町の合併により、都市地域のほか、中山間地域や島しょ部を有する市となっている。

⑥水害や地震等に対する脆弱さを内包

- ・沼田川の氾濫による水害、高潮による浸水被害、土砂災害などの不安を抱えている。(土砂災害危険箇所 1,755 箇所)

○課題

①高齢化対策の充実

- 豊かな生活環境の創造(生活環境の向上)
  - バリアフリー化…幅広歩道整備、歩道段差の解消 等

②快適な居住環境の整備

- 沿道環境の改善
  - 渋滞対策、騒音対策…バイパスの整備、低騒音舗装 等
- 生活幹線道路の整備…現道拡幅による隘路の解消 等
- 安全・安心な居住環境づくり…歩行空間の確保 等

③交通拠点性を活かした地域づくり

- 広域的な交通拠点の連携強化
  - 空港、港湾、新幹線、ICの連携強化に資する道路の整備
- 国際競争力の強化
  - 交流・物流機能の強化に資する道路の整備

④都市の賑わいづくり

- 活力ある都市づくりを支える基盤の整備
  - 地域間交流の強化…広域連携に資する道路の整備
  - 中心市街地へのアクセス性向上…旧市町との連携に資する道路・生活幹線道路の整備や自転車・歩行空間の確保

⑤地域の個性を活かした役割分担によるまちづくり

- 地域全体の一体的な発展を目指したまちづくり
  - 旧市町相互の連携強化…連携強化に資する道路の整備(南北軸の強化)

⑥災害に強い地域づくり

- 安全・安心な居住環境づくり…緊急輸送道路の確保 等

②-2 地域の目指すべき将来像

広島県三原市

■まちづくりの理念

- 三原市は、地域の個性的な歴史・文化・豊かな自然、恵まれた交通条件を活かし、すべての人が生き生きと暮らせるまちの実現を目指し、「海・山・空 夢ひらくまち」をまちづくりの理念・キャッチフレーズのもとに、まちづくりを進めている。

■三原市の将来像

- まちづくりの理念・キャッチフレーズのもとに、各地域の役割分担と連携により、目指すべきまち全体の将来像として、「自然と共生する快適で安全なまち」、「活力ある産業のまち」、「交通・情報・観光基盤の充実した交流のまち」などの地域像を設定し、その実現に向けた取組みを推進している。

■将来像を実現するための施策の展開

- 「自然と共生する快適で安全なまち」・・・豊かな自然と美しい景観に恵まれ、自然にやさしい環境共生型の生活を実現するとともに、質の高い快適で安全な居住環境が整備されたまち
  - ・循環型社会の構築・・・生活に密着した環境問題への対応、環境への負荷の少ない社会づくり  
⇒渋滞・騒音対策としてのバイパスなどの整備
  - ・快適な生活基盤の整備・・・住民全てが快適な生活を楽しめる都市基盤の整備⇒バリアフリー化、生活幹線道路の整備
  - ・生活の安全性の確保・・・災害時の避難や緊急輸送などに配慮した災害に強い都市基盤の整備、住民の安全・安心の確保  
⇒緊急輸送道路の確保、安全・安心な歩行空間の確保、生活幹線道路の整備
- 「活力ある産業のまち」・・・産業活動のグローバル化に対応しながら地域産業が力強く発展し、活力ある企業等が生まれるまち
  - ・工業の振興・・・広島空港への近接性などの恵まれた交通条件を活かした産業集積の形成  
⇒空港、港湾、ICなど広域的な交通拠点を相互に連携強化する道路網の整備
  - ・商業・サービス業の振興・・・活力の低下が見られる中心市街地の活性化⇒交流連携を強化する道路網の整備
- 「交通・情報・観光基盤の充実した交流のまち」・・・産業活動と豊かな生活を支える利便性の高い総合的な交通体系と情報基盤が整備され、これらが効果的に活用されるとともに、国内外から多くの観光客が訪れ、多彩な交流が展開されるまち
  - ・道路網の整備・・・陸・海・空の交通拠点性の強化と地域内外との交流促進⇒東西軸に比べて弱い南北軸の強化、合併市町間の円滑な交流を支える道路の整備をはじめ、高規格道路から身近な道路までの道路網の有機的な整備

今後の道路行政についての意見・提案

様式③

③ 道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

広島県三原市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
<p>「活力」</p> <p>■国際競争力の強化</p> <p>■地域活力の向上</p> <p>■都市交通の快適性 利便性の向上</p> <p>「安全」</p> <p>■災害に強い地域づくり</p> <p>■総合的な交通安全対策</p>	<p>□陸・海・空の総合交通ネットワークの整備</p> <p>・広島空港、重要港湾尾道糸崎港、新幹線と都市を相互に連携強化する道路の整備(地域高規格道路「福山本郷道路」)</p> <p>□地域間交流の強化</p> <p>・隣接する他都市との連携強化(県道尾道三原線、三原竹原線などの整備)</p> <p>・都市地域と中山間地域との連携強化(県道三原東城線、三原本郷線などの南北軸整備)</p> <p>□都市内交通の円滑化(地域高規格道路、都市幹線道路の整備)</p> <p>□緊急輸送道路の確保(国道2号三原バイパス、木原道路、県道三原東城線などの整備)</p> <p>□災害時の迂回ルート等の確保(県道尾道三原線、三原本郷線などの整備)</p> <p>□道路交通の安全性の向上</p> <p>・安全な歩行空間の確保(国道2号歩道整備など)</p> <p>・交通危険箇所の解消(隘路の解消、道路線形・交差点改良)</p>	<p>・基幹産業の国際競争力の強化</p> <p>・国際的な物流基盤の整備</p> <p>・産業集積の広域連携</p> <p>・人、物、情報等の広域的な交流・連携による地域の活力・魅力の向上(広域的な産業連携、広域観光など)</p> <p>・一体的な生活圏の形成</p> <p>・中山間地域と生活中心都市との機能連携</p> <p>・渋滞・騒音問題の解消</p> <p>・都市幹線道路の隘路の解消</p> <p>・市民生活の基盤となる安全・安心の確保</p> <p>・異常気象時の通行規制の解消</p> <p>・リダンダンシーの確保</p> <p>・交通事故の減少</p> <p>・通学路等の安全性向上</p>	

<p>「暮らし・環境」</p> <p>■人口減少・高齢化社会に対応したバリアフリー社会の形成</p> <p>■良好な生活空間の形成</p> <p>「横断的な施策」</p> <p>■計画的な維持管理や更新の推進</p>	<p>□主要駅などを中心としたバリアフリー化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広歩道の整備、段差の解消 等</li> <li>・中心市街地における歩行空間などの確保</li> </ul> <p>□沿道環境の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バイパスの整備による渋滞・騒音対策 (国道2号三原バイパス、木原道路等の整備)</li> </ul> <p>□公共施設の計画的な維持管理・更新</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路橋の延命化対策</li> <li>・下水道施設の延命化対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩いて暮らせるコンパクトなまちづくり</li> <li>・持続可能で暮らしやすいまちづくり</li> <li>・中心市街地の活性化</li> </ul> <p>・渋滞、騒音問題の解消</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・落橋による事故・通行止めの回避</li> <li>・公共施設のLCCの縮減</li> </ul>	
--	---	--	--